

事業分類	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需	公的関与	3	作成日	30年6月13日
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---	-----	----------

事務事業名	防災・安全交付金事業（橋梁長寿命化分）	シート作成部署	
-------	---------------------	---------	--

総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち	課名	建設課	係名	土木係	
		1-1 安全・安心のまちをつくる	シート作成者				
	施策	1-1-2 交通安全・防犯対策の充実	予算費目	会計	一般		
				款	8		
主要施策	安全な道路環境の整備・維持	項		2			
		目		3			

個別計画名	橋梁長寿命化修繕計画
-------	------------

住民との関わり	特になし
---------	------

事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）
	住民（歩行者、ドライバー）、通過、来訪者	安全に通行が出来る道路橋の維持管理

事業内容（どのような方法で、何を行うのか）  
 道路法により定められた法定点検を5年に1回実施し、町内にある橋139橋の維持管理を行う。また長寿命化修繕を行う。

事業期間	昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

根拠法令・要綱等	道路法
----------	-----

		平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
全体事業費（千円）A+B		0	0	22,970
財源内訳	国庫支出金	0	0	11,000
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	8,100
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	900
直接事業費（千円）A		0	0	20,000
人件費（千円）B		0	0	2,970
内訳	一般職員（人・千円）	人 0	人 0	0.45 人 2,970
	臨時職員（人・千円）	人 0	人 0	人 0

成果指標	成果指標名	単位	28年度		29年度（目標）	30年度（目標）
			目標	実績		
	①					
②						
③						
説明						

事業名	防災・安全交付金事業（橋梁長寿命化分）	シート作成課	建設課
-----	---------------------	--------	-----

一次評価者	建設課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	橋梁長寿命化修繕計画に基づき損傷、劣化等が見受けられる橋の修繕を行う必要があります。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	軽度な損傷、劣化等を早期に修繕することにより、今後維持コスト縮減が図れる。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	限られた予算の中で、効率的に補修を行えるよう取り組んでいます。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	補助等を活用し、出来る限り補修を進めるよう努力します。

本事務事業の実施適切性の説明

致命的な損傷が顕著化する前に予防的な補修を実施することで、橋梁の長寿命化や維持管理に係る費用の縮減に努め、ライフサイクルコストの抑制ができる。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	<sup>⑧</sup> B	<sup>⑧</sup> A
						<sup>⑦</sup> D	<sup>⑧</sup> C
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	橋梁の長寿命化や維持管理費用の縮減に努めていきます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	<sup>⑧</sup> B	<sup>⑧</sup> A
						<sup>⑦</sup> D	<sup>⑧</sup> C
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	計画的に定期点検を実施し、最新の点検結果に基づき修繕を行っていく必要がある。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--